

平成31年度

鳥取大学大学院医学系研究科

生命科学専攻

機能再生医科学専攻

博士後期課程学生募集要項

鳥 取 大 学

鳥取大学大学院医学系研究科生命科学専攻博士後期課程教育に関する三つの基本方針

I. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

生命科学専攻博士後期課程は、本学が掲げる教育研究理念のもとに先端研究を行い、高い専門性と倫理観を備えた生命科学・医学研究を担う研究者の育成、および高度な専門性を求められる職業人の養成を図ることを目標とします。生命科学専攻博士後期課程では、学生が医学系研究科における学修と経験を通じて次の場合に、博士（生命科学）の学位を授与します。

- 1 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、査読付きの学術雑誌に掲載された博士論文の審査および最終試験に合格すること。
- 2 生命科学・医学分野における高度な専門的学識と高い倫理観および責任感を備えること。
- 3 自立した研究者等として国際的に貢献できる研究能力などを身に付けること。

II. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

生命科学専攻博士後期課程は、学位授与の方針で示す能力や見識を主体的に身に付けることができるよう、体系的かつ包括的な生命科学・医学研究の専門教育課程の編成と実践的研究指導を次の目標のもとに実施します。

- 1 生命科学・医学関連領域の高度な知識・技術の修得（学際的大学院教育）と高い研究倫理観の養成。
- 2 学内外の先端研究者による講義・セミナーを通じた高度な専門知識の習得。
- 3 博士論文指導による課題探索力や問題解決力の育成および論文作成能力の養成。

III. アドミッション・ポリシー（入学者の受入れの方針）

生命科学専攻博士後期課程では、国内外から次のような入学者を求めています。

- 1 生命科学・医学研究に対し真摯かつ積極的な意欲を持つ人
- 2 研究課題を自ら見だし探究するための学識を備えている人
- 3 高度な研究能力や専門性を要する職業を担う高い倫理観と責任感を持つ人

こうした入学者を受け入れるために、多様な入試方法によりその適性を確認します。

鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻博士後期課程教育に関する三つの基本方針

I. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

機能再生医科学専攻博士後期課程は、学生が医学系研究科における学修と経験を通じて次の場合に、博士（再生医科学）の学位を授与します。

- 1 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、査読付き学術誌に論文が受理され、学位論文審査および最終試験に合格すること。
- 2 遺伝子・再生医学、生命科学、基礎医学に関する豊かな学識を身につけること。
- 3 先端医療を支える技術とその原理を理解し、トランスレーショナル・リサーチ（橋渡し研究）を遂行するための広い視野を身につけること。
- 4 遺伝子・再生医学、生命科学、基礎医学の分野において国際的に活躍できる、研究者として自立した研究活動または高度な専門的業務に従事するために必要な研究能力を身につけること。
- 5 生命や医療に関する倫理的課題の理解と、遺伝子・再生医学を担うものとしての高い倫理観と責任感を身につけること。

II. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

機能再生医科学専攻博士後期課程は、学位授与の方針で示す能力や特性を学生が主体的に身につけることができるよう、次の目標のもとに体系的な教育課程を編成し実施します。

- 1 幅広い医学と生命科学の知識、専門性の高い遺伝子・再生医学に関する知識、再生医療やその支援システムの研究や技術開発に必要な技術の習得。
- 2 生命倫理の知識の習得と、議論を通じた高い倫理観の涵養。
- 3 臨床の現場を知りトランスレーショナルリサーチを担える能力の養成。
- 4 博士論文指導による課題探索力、問題解決力の育成。
- 5 上記による、遺伝子・再生医学や関連分野で国際的に活躍できる自立した研究者、基礎研究と臨床医学や産業界との橋渡しや産業界の先導ができる高度な専門的職業人およびリサーチマインドをもった臨床医の育成。

III. アドミッション・ポリシー（入学者の受入れ方針）

機能再生医科学専攻博士後期課程では、理念・教育目標を達成するため、国内外から次のような入学者を求めています。

- (1) 遺伝子・再生医学の分野で自ら課題を発見して解決するために必要な基礎学力を備えている人。
 - (2) 遺伝子・再生医学及びその関連分野である生命科学や基礎医学の動向・進展に関心があり、それらの知識・技術を学び、向上・発展させる研究活動に興味をもてる人。
 - (3) 研究成果を臨床医学や産業界へと橋渡しすることで、先導的医療や新産業創出にチャレンジしたい人。
- 2 こうした入学者を国内外から受け入れるために、多様な入試方法によりその適性を確認します。

目 次

生命科学専攻

募集要項

I. 専攻及び募集定員	1
II. 出願資格	1
III. 出願資格の認定	1
IV. 出願手続	2
V. 入試方法	3
VI. 合格発表	4
VII. 入学手続	4
VIII. その他	5

入学案内

I. 目的	6
II. 修業年限	6
III. 部門及び指導教員等	6
IV. 授業科目及び授業内容	7
V. 履修方法及び学位授与	9
VI. 長期履修制度について	9
VII. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について	9
VIII. 国の教育ローン（日本政策金融公庫）	9
IX. 奨学金制度について	10

機能再生医科学専攻

募集要項

I. 専攻及び募集定員	11
II. 出願資格	11
III. 出願資格の認定	11
IV. 出願手続	12
V. 入試方法	13
VI. 合格発表	14
VII. 入学手続	14
VIII. その他	15

入学案内

I. 目的	16
II. 修業年限	16
III. 部門及び授業科目等	16
IV. 履修方法及び学位授与	17
V. 長期履修制度について	17
VI. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について	17
VII. 国の教育ローン（日本政策金融公庫）	17
VIII. 奨学金制度について	18

米子地区案内図	19
---------	----

平成31年度鳥取大学大学院医学系研究科 生命科学専攻博士後期課程学生募集要項

I. 専攻及び募集定員

専攻	部門名	募集定員
生命科学	分子生物学、細胞工学、免疫学、ゲノム医工学、生体情報学、病態生化学、神経生物学	5人 (社会人若干名を含む。)

出願を希望する者は、出願前に志望部門の教授等と必ず連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。教授等の連絡先がわからない場合は、医学部学務課教育企画係にメールで照会してください。

教育企画係メールアドレス：me-gakumusou@ml.adm.tottori-u.ac.jp

II. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者及び平成31年3月31日までにいずれかに該当する見込みの者

1. 修士の学位を有する者
2. 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
5. 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
6. 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号参照）
7. 当該研究科において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

(注)

上記6に該当する者は、大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等で2年以上研究に従事した者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者

III. 出願資格の認定

II. 出願資格の2、3、6、7のいずれかにより出願を希望する者は、下記期間に鳥取大学医学部学務課教育企画係へ「出願資格認定申請書（様式A）」、「履歴書（様式B）」、「大学の卒業証明書（本学医学部卒業者は不要。）」、「研究業績目録（様式1）」、「返信用封筒（定形型封筒（長形3号）に郵便切手362円分（速達料を含む）を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの。）」を提出してください。なお、出願資格6、7により出願を希望する者で、個別の事情等により「研究業績目録（様式1）」に十分な内容を記載できない場合は、その理由とともに出願を希望する者が修士の学位を有する者と同等以上の学力があることを示す所属機関等からの推薦状（様式自由）を併せて提出してください。

第1回 平成30年 6月 4日（月）から 6月 8日（金）まで（必着）

第2回 平成30年 9月 25日（火）から10月 1日（月）まで（必着）

審査の結果は、第1回は平成30年6月26日（火）、第2回は平成30年10月26日（金）までに本人あてに通知書を送付します。

IV. 出願手続

1. 出願期間

第1回 平成30年 7月 5日(木) から 7月12日(木) まで(必着)

第2回 平成30年11月 8日(木) から11月14日(水) まで(必着)

受付時間は、平日の9時から17時まで

2. 出願書類提出先

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

3. 出願方法

入学志願者は次の出願書類等を取り揃えて、鳥取大学医学部学務課教育企画係へ提出してください。郵送の場合は「速達・書留」とし、封筒(角型2号)の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。出願書類等に不備のある場合は受け付けないことがありますので十分留意してください。

4. 出願書類等

出願書類等	摘 要
(1) 志 願 票	本研究科所定の志願票に所要事項を記入の上、提出してください。
(2) 写真票・受験票	所要事項を記入し、写真(縦4cm×3cm、上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの。)を貼って提出してください。
(3) 成績証明書	出身大学長(研究科長)が作成し、厳封したものを提出してください。(博士前期(修士)課程の成績証明書)
(4) 博士前期(修士)課程修了(見込)証明書	1 通 (ただし、出願資格の認定を受けた者は不要です。)
(5) 修士学位論文要旨又は研究業績目録	修士の学位を有する者は、学位論文要旨又はその要旨の写。それ以外の者は、本研究科所定の研究業績目録(様式1)を提出してください。
(6) 研究計画書	研究計画書(様式2)に記入の上、提出してください。
(7) 検 定 料	検定料 30,000円 本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口(郵便局、ゆうちょ銀行を除く。ATMは利用しないでください。)から振り込みのうえ、「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付台紙」の所定の位置に貼り付けてください。 また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。 検定料振込期間 第1回 平成30年 7月 3日(火) から 7月12日(木) まで 第2回 平成30年11月 6日(火) から11月14日(水) まで なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 a. 検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった)場合 b. 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合 c. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

	<p>上記a～cに該当する場合は、必ず医学部学務課教育企画係（TEL(0859)38-7106）へ連絡してください。（返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。）</p> <p>ただし、平成31年3月に本学研究科の博士前期(修士)課程を修了見込みの者で引き続き本課程に進学する者及び外国人志願者のうち、日本政府(文部科学省)国費留学生は検定料の支払いは不要です。</p>
(8) 受験承認書	<p>現在、官公庁、学校、会社、病院等に在職している者は、当該所属長の受験承認書(様式3)を提出してください。</p> <p>なお、退職して入学する予定の者は本人がその旨を記載した文書(署名、押印)をもって受験承認書に代えることができます。</p>
(9) 志望理由書	(8)に該当する者は、本人の受験に至った志望理由書(様式4)を提出してください。
(10) 宛名票	本研究科所定の宛名票(様式5)に所要事項を記入の上、提出してください。
(11) 住民票等 (外国人のみ)	日本に在住する外国人は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し(両面)等、在留資格が記載されたものを、前述のものを提出することができない外国人はパスポートの写しを提出してください。
(12) 返信用封筒 (受験票送付用)	定形型封筒(長形3号)に郵便切手362円分(速達料を含む。)を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記の上、提出してください。

(注) 1. 本学大学院医学系研究科博士前期(修士)課程修了(見込)者は、上記の(3)、(4)、(5)の出願書類は不要です。

2. (8)について、本学医学部または附属病院に勤務する者は、本学医学部総務課人事係へ申請してください。

※受験票は、第1回については7月17日(火)頃、第2回については11月16日(金)頃速達郵便で発送します。

なお、受験票が、第1回については7月23日(月)、第2回については11月26日(月)を過ぎても到着しない場合は、医学部学務課教育企画係(TEL(0859)38-7106)へお問い合わせください。

V. 入試方法

試験の成績、成績証明書等を総合して判定します。

なお、試験日時、試験科目等は以下のとおりです。

第1回 平成30年 8月10日(金)

第2回 平成30年11月30日(金)

時 間	試 験 科 目		試験場
9:00 ～ 10:30	外国語(英語)	筆記試験	鳥取大学 医学部
10:50 ～	志望する研究分野に関連する口述試験及び面接		

(1) 試験場等詳細については、受験票送付時にお知らせします。

(2) 外国語試験については、辞書(和英、英和及び英英辞典のみ。)の持ち込みを許可します。(ただし、電子辞書は除く。)

(3) 試験当日は8時40分までに試験室に入室してください。

VI. 合格発表

第1回 平成30年 8月31日(金)

第2回 平成31年 1月 8日(火)

鳥取大学医学部ホームページに合格者の受験番号を午前11時頃に掲載するとともに、本人あてに合格通知書のほか、入学手続に必要な書類を送付します。(不合格者には通知しません。)

鳥取大学医学部ホームページURL: <http://www.med.tottori-u.ac.jp/exam/>

なお、電話による合否の照会には応じません。

VII. 入学手続

平成31年2月12日(火)から平成31年2月27日(水)まで(必着)

受付時間は、平日の9時から17時まで

入学手続は、必要書類を取り揃えて入学手続期限までに必着となるよう「速達・書留」で郵送するか、直接持参し、完了してください。

なお、入学を辞退する場合は、医学部学務課教育企画係(TEL(0859)38-7106)へ連絡してください。

1. 手続書類等

(1) 受験票

(2) 入学料 282,000円(予定額)

- ① 合格者には所定の振込用紙を送付しますので、入学手続期間中にお振り込みください。ただし、平成31年3月に本学大学院博士前期(修士)課程を修了し、引き続き本課程に進学する者及び日本政府(文部科学省)国費留学生は不要です。
- ② 振込方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。
- ③ 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 入学料の免除(又は徴収猶予)を希望する場合は、入学手続時に入学料を納入しないでください。

(3) 授業料について

授業料 半期分 267,900円(予定額) [年額 535,800円(予定額)]

- ① 納入時期は、前期は5月、後期は11月です。ただし、日本政府(文部科学省)国費留学生は不要です。
 - ② 本学では授業料の納入を、口座振替方式としています。
 - ③ 口座振替手続等詳細については、合格通知の際にお知らせします。
 - ④ 授業料の納入については、希望により前期分の納入時に後期分も併せて納入することができます。
 - ⑤ 前期分授業料納入の際に、後期分授業料も併せて納入した者が平成31年9月30日までに休学又は退学した場合には、納入した者の申し出により後期分の授業料相当額を返還します。
 - ⑥ 授業料の免除(又は徴収猶予)を希望する場合は、入学手続時に授業料を納入しないでください。
- * 入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくこととなりますのでご了承ください。

2. 入学手続場所

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

Ⅷ. その他

1. 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
2. 提出書類の記載と相違する事実が判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
3. 身体に障がいのある方で受験の際に配慮を必要とする者は、出願の前に申し出てください。
4. 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のために行う業務などを含む。）及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用するとともに管理します。他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は行いません。

鳥取大学大学院医学系研究科 生命科学専攻博士後期課程入学案内

I. 目的

生命科学専攻（博士後期課程）では、生命科学・医学分野において高い専門性と倫理観を備えた研究者の養成を目指します。この目標に向けて、体系的かつ包括的な生命科学・医学研究の専門教育と実践的研究指導により、研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力及び基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

II. 修業年限

博士後期課程 標準修業年限 3年

III. 部門及び指導教員等

専攻	部 門 名	指 導 教 員	入学定員
生 命 科 学	分子生物学、細胞工学 免疫学、ゲノム医工学	林 真一 教授、 初沢 清隆 教授、 堀 直裕 准教授 吉野 三也 准教授、 井上 敏昭 准教授	5人
	生体情報学、病態生化学 神経生物学	竹内 隆 教授、 岡田 太 教授、 尾崎 充彦 准教授、 林 利憲 准教授	

* 医学系研究科他専攻の授業科目についても、受講することができ、研究指導を受けることができます。

IV. 授業科目及び授業内容

領域別	授業科目	単位数	授業内容
領域 I	酸化ストレス学特論	2	酸化ストレスは、がんや動脈硬化・糖尿病に代表される生活習慣病等の発症に関わる重要な要因であることが明らかにされてきている。この酸化ストレスが生じる生体内・生体外環境と、疾患発症に関わる機構を理解することで今後の課題を提起する。
	予防医学特論	2	成人病、精神病などの遺伝子の変異が原因であるものが多く存在することが明らかにされてきた。 遺伝子変異の有無と病態との関連を明らかにし、今後明らかにされるべき問題点を知る。
	加齢医学特論	2	細胞老化、神経老化、個体の老化を病理学的及び分子生物学的側面より検討し、問題提起を行う。
	遺伝子医学特論	2	遺伝子疾患に関連した研究の現状を把握し、問題点などを理解した上で将来の方向性について考察する。
	生体防御学特論	2	生体防御機構とその異常に伴う種々の疾病との関連を討論することによって、現在の知見と今後明確にすべき問題点を指摘する。
	シグナル伝達学特論	2	細胞内シグナリング機構の異常は多くの疾患の原因となっている。受容体から細胞核に至るシグナル伝達機構の物質的基盤を明確にし、今後解明すべき問題点を明らかにする。
	分子腫瘍学特論	2	がんは、複数の遺伝子の病気であることが明らかにされてきた。腫瘍に係わる遺伝子の機能や変異の時期と悪性度との関連などの新知見を明らかにし、今後の問題提起を行う。

領域別	授 業 科 目	単位数	授 業 内 容
領域 I	生 命 倫 理 学 特 論	2	バイオテクノロジーの発展に伴い、遺伝子治療、出生前遺伝子診断、卵操作等今後多くの倫理的問題が生じることが予想される。問題提起と討論を通して、21世紀の医学に対応できる豊かな倫理観を育成する。
	神 経 分 化 学 特 論	2	脳、脊髄の発生過程で、特定の機能を持った細胞に分化していくのに必要な刺激、それらの受容体の発現、受容体を介するシグナル伝達系について、種々の細胞系、実験系を用いた研究者の最新の知見を持ち寄り講義と討議を行う。脳、脊髄の発生異常を引き起こす疾患での解析について、臨床医学研究者の知見も併せて討議する。
	医 学 概 論	2	医学部出身者以外の入学者は、十分な医学の基礎知識を持っていないと考えられるので、それを補うため医学全般に亘る基礎を理解させ、医学的発想、問題提起ができるよう指導する。
領域 II	生 物 資 源 科 学 特 論	2	生物資源にはどのようなものがあるか、その現況を知り、医学への応用を検討する。
	応用遺伝子工学特論	2	新たな遺伝子工学技術の創造や、既存の遺伝子工学技術の新たな応用を着想するために有用な知識を習得する。
	生物応用工学特論	2	生物資源の有効利用のための工学的アプローチに対する最新の知見を知り医学応用への可能性などを検討し、問題提起をする。
	医 療 工 学 特 論	2	臓器・器官形成における分子・細胞生物学的な制御機構に関する最近の知見を知り、器官再生の可能性、および実用について検討、問題提起する。
	水産資源応用学特論	2	生物資源の有効利用のための工学的アプローチに対する最新の知見を知り医学応用への可能性などを検討し、問題提起をする。

(注) 以上の授業科目は、いずれも選択科目となっています。

V. 履修方法及び学位授与

1. 本研究科において、3年以上在学し下記のとおり12単位以上履修します。

選択科目

領域Ⅰから6単位以上、領域Ⅱから6単位以上の合計12単位以上

2. 大学院設置基準第14条による教育方法の特例による教育の実施について

(1) 目的

通常の教育方法では、社会人の多くは学業に専念することは非常に困難であるところから、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を活用して、広く医学関連分野で活躍している社会人に対して夜間、その他特定の時間・期間に授業または研究指導等を行う就学の機会を設けて、社会の要請と教育の機会の多様化に対応することを目的とします。

(2) 授業の実施方法

特例による授業は、夜間（18:30～21:40）、土曜日、日曜日、夏季・冬季休業期間（集中講義）に実施します。

また、研究指導及び論文の作成にあたっては、夜間、土曜日、日曜日或いはコンピュータネットワーク等のマルチメディアを活用して指導します。

* 大学院設置基準第14条

「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」

3. 上記1の条件を満たし、かつ、指導教員の研究指導を受け、論文を作成し、論文審査及び最終試験に合格した者に博士（生命科学）の学位を授与します。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績をあげた者については、2年以上在学すれば足りるものとします。

VI. 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有している等の事情により、通常の標準修業年限（3年間）では修了が困難である者に対し、標準修業年限を超えて一定の期間（最長6年間）にわたり計画的な履修を認める制度です。

また、授業料については、標準修業年限の3年間で支払うべき総額を、長期履修を認められた期間で均等割して支払うこととなります。

なお、長期履修制度の適用を希望する者は、入学手続き時に申請が必要です。詳細については、医学部学務課教育企画係までお問合せください。

VII. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について

次のいずれかの条件に該当し、入学料又は授業料の納入が著しく困難と認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考の上、入学料又は授業料が免除（全額又は半額）される制度があります。

(1) 経済的理由によって入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

(2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

(3) (2)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

詳細については、医学部学務課学生係（TEL（0859）38-7100）へお問い合わせください。

VIII. 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

学生1人につき350万円以内を固定金利で利用でき、在学期間内は利息のみの返済とすることができます。

詳細については、日本政策金融公庫教育ローンコールセンター（0570-008656（ナビダイヤル））へお問い合わせください。

IX. 奨学金制度について

独立行政法人日本学生支援機構等において、人物・学業とも優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学が著しく困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与し、修学を援助する制度があります。

また、本学では大学院博士課程（博士後期課程）に入学・進学する学生の研究意欲の向上及び優れた研究の推進に資するため、1・2年次学生を対象とした「エンカレッジ・ファンド」があり、研究科長から推薦された者に年額50万円を限度として奨学金が給付されます。

詳細については、医学部学務課学生係（TEL（0859）38-7100）へお問い合わせください。

平成31年度鳥取大学大学院医学系研究科 機能再生医科学専攻博士後期課程学生募集要項

I. 専攻及び募集定員

専攻	部門名	募集定員
機能再生医科学	遺伝子機能工学、生体高次機能学、 蛋白質機能学、遺伝子医療学、 再生医療学、制御再建医学	7人 (社会人若干名含む。)

出願を希望する者は、出願前に志望部門の必ず教授等と連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。教授等の連絡先がわからない場合は、医学部学務課教育企画係にメールで照会してください。

教育企画係メールアドレス：me-gakumusou@ml.adm.tottori-u.ac.jp

II. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者及び平成31年3月31日までにいずれかに該当する見込みの者

1. 修士の学位を有する者
2. 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
5. 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
6. 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号参照）
7. 当該研究科において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

(注)

上記6に該当する者は、大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等で2年以上研究に従事した者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者

III. 出願資格の認定

II. 出願資格の2、3、6、7のいずれかにより出願を希望する者は、下記期間に鳥取大学医学部学務課教育企画係へ「出願資格認定申請書（様式A）」、「履歴書（様式B）」、「大学の卒業証明書（本学医学部卒業者は不要）」、「研究業績目録（様式1）」、「返信用封筒（定形型封筒（長形3号）に郵便切手362円分（速達料を含む）を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの。）」を提出してください。なお、出願資格6、7により出願を希望する者で、個別の事情等により「研究業績目録（様式1）」に十分な内容を記載できない場合は、その理由とともに出願を希望する者が修士の学位を有する者と同等以上の学力があることを示す所属機関等からの推薦状（様式自由）を併せて提出してください。

第1回 平成30年 6月 4日（月）から 6月 8日（金）まで（必着）

第2回 平成30年 9月25日（火）から10月 1日（月）まで（必着）

審査の結果は、第1回は平成30年6月26日（火）、第2回は平成30年10月26日（金）までに本人あてに通知書を送付します。

IV. 出願手続

1. 出願期間

第1回 平成30年 7月 5日(木) から 7月12日(木) まで(必着)

第2回 平成30年11月 8日(木) から11月14日(水) まで(必着)

受付時間は、平日の9時から17時まで

2. 出願書類提出先

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

3. 出願方法

入学志願者は次の出願書類等を取り揃えて、鳥取大学医学部学務課教育企画係へ提出してください。郵送の場合は「速達・書留」とし、封筒(角型2号)の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。出願書類等に不備のある場合は受け付けませんので十分留意してください。

4. 出願書類等

出願書類等	摘 要
(1) 志 願 票	本研究科所定の志願票に所要事項を記入の上、提出してください。
(2) 写真票・受験票	所要事項を記入し、写真(縦4cm×横3cm、上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの。)を貼って提出してください。
(3) 成績証明書	出身大学長(研究科長)が作成し、厳封したものを提出してください。(博士前期(修士)課程の成績証明書)
(4) 博士前期(修士)課程修了(見込)証明書	1 通(ただし、出願資格の認定を受けた者は不要です。)
(5) 修士学位論文要旨又は研究業績目録	修士の学位を有する者は、学位論文要旨又はその要旨の写。それ以外の者は、本研究科所定の研究業績目録(様式1)を提出してください。
(6) 研究計画書	研究計画書(様式2)に記入の上、提出してください。
(7) 検 定 料	<p>検定料 30,000円</p> <p>本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口(郵便局、ゆうちょ銀行を除く。ATMは利用しないでください。)から振り込みの上、「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付台紙」の所定の位置に貼り付けてください。</p> <p>また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。</p> <p>検定料振込期間</p> <p>第1回 平成30年 7月 3日(火) から 7月12日(木) まで</p> <p>第2回 平成30年11月 6日(火) から11月14日(水) まで</p> <p>なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>a. 検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった)場合</p> <p>b. 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合</p> <p>c. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>上記a~cに該当する場合は、必ず医学部学務課教育企画係(TEL(0859)38-7106)へ連絡してください。(返還方法等の詳</p>

	細については、文書でお知らせします。) <p>ただし、平成31年3月に本学研究科の博士前期(修士)課程を修了見込みの者で引き続き本課程に進学する者及び外国人志願者のうち、日本政府(文部科学省)国費留学生は検定料の支払いは不要です。</p>
(8) 受験承認書	現在、官公庁、学校、会社等に在職している者は、当該所属長の受験承認書(様式3)を提出してください。 <p>なお、退職して入学する予定の者は本人がその旨を記載した(署名、押印)をもって受験承認書に代えることができます。</p>
(9) 志望理由書	(8)に該当する者は、本人の受験に至った志望理由書(様式4)を提出してください。
(10) 宛名票	本研究科所定の宛名票(様式5)に所要事項を記入の上、提出してください。
(11) 住民票等 (外国人のみ)	日本に在住する外国人は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し(両面)等、在留資格が記載されたものを、前述のものを提出することができない外国人はパスポートの写しを提出してください。
(12) 返信用封筒 (受験票送付用)	定形型封筒(長形3号)に郵便切手362円分(速達料を含む。)を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記の上、提出してください。

- (注) 1. 本学大学院医学系研究科博士前期(修士)課程修了(見込)者は、上記の(3)、(4)、(5)の出願書類は不要です。
2. (8)について、本学医学部または附属病院に勤務する者は、本学医学部総務課人事係へ申請してください。

※受験票は、第1回については7月17日(火)頃、第2回については11月16日(金)頃速達郵便で発送します。

なお、受験票が、第1回については7月23日(月)、第2回については11月26日(月)を過ぎても到着しない場合は、医学部学務課教育企画係(TEL (0859)38-7106)へお問い合わせください。

V. 入試方法

試験の成績、成績証明書等を総合して判定します。

なお、試験日時、試験科目等は以下のとおりです。

第1回 平成30年 8月10日(金)

第2回 平成30年11月30日(金)

時 間	試 験 科 目		試験場
9:00 ~ 10:30	外国語(英語)	筆記試験	鳥取大学 医学部
10:50 ~	志望する研究分野に関連する口述試験及び面接		

- (1) 試験室等詳細については、受験票送付時にお知らせします。
- (2) 外国語試験については、辞書(和英、英和及び英英辞典のみ。)の持ち込みを許可します。(ただし、電子辞書は除く。)
- (3) 試験当日は8時40分までに試験室に入室してください。

VI. 合格発表

第1回 平成30年 8月31日(金)

第2回 平成31年 1月 8日(火)

鳥取大学医学部ホームページに合格者の受験番号を午前11時頃に掲載するとともに、本人あてに合格通知書のほか入学手続に必要な書類を送付します。

(不合格者には通知しません。)

鳥取大学医学部ホームページURL: <http://www.med.tottori-u.ac.jp/exam/>

なお、電話による合否の照会には応じません。

VII. 入学手続

平成31年2月12日(火)から平成31年2月27日(水)まで(必着)

受付時間は、平日の9時から17時まで

入学手続は、必要書類を取り揃えて入学手続期限までに必着となるよう「速達・書留」で郵送するか、直接持参し、完了してください。

なお、入学を辞退する場合は、医学部学務課教育企画係(TEL(0859)38-7106)へ連絡してください。

1. 手続書類等

(1) 受験票

(2) 入学料 282,000円(予定額)

① 合格者には所定の振込用紙を送付しますので、入学手続期間中にお振り込みください。ただし、平成31年3月に本学大学院博士前期(修士)課程を修了し、引き続き本課程に進学する者及び日本政府(文部科学省)国費留学生は不要です。

② 振込方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

③ 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

④ 入学料の免除(又は徴収猶予)を希望する場合は、入学手続時に入学料を納入しないでください。

(3) 授業料について

授業料 半期分 267,900円(予定額) [年額 535,800円(予定額)]

① 納入時期は、前期は5月、後期は11月です。ただし、日本政府(文部科学省)国費留学生は不要です。

② 本学では授業料の納入を、口座振替方式としています。

③ 口座振替手続等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

④ 授業料の納入については、希望により前期分の納入時に後期分も併せて一括して納入することができます。

⑤ 前期分授業料納入の際に、後期分授業料も併せて納入した者が平成31年9月30日までに休学又は退学した場合には、納入した者の申し出により後期分の授業料相当額を返還します。

⑥ 授業料の免除(又は徴収猶予)を希望する場合は、入学手続時に授業料を納入しないでください。

* 入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくこととなりますのでご了承ください。

2. 入学手続場所

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

Ⅷ . その他

1. 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
2. 提出書類の記載と相違する事実が判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
3. 身体に障がいのある方で受験の際に配慮を必要とする者は、出願の前に申し出てください。
4. 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のために行う業務などを含む。）及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用するとともに管理します。他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は行いません。

鳥 取 大 学 大 学 院 医 学 系 研 究 科

機 能 再 生 医 科 学 専 攻 博 士 後 期 課 程 入 学 案 内

I. 目的

独立専攻「機能再生医科学専攻」は、我が国の直面している21世紀の長寿社会・健康維持に向けて、先導的な研究者の養成を目指します。この目標に向けて、先導的地域医療の実践を目指し、遺伝子医療や機能再生医療に関する基礎研究の推進とその成果を医療の現場に応用し、加えて関連産業を先導する人材を育成することを目的としています。

II. 修業年限

博士後期課程 標準修業年限 3年

III. 部門及び授業科目等

専攻	講座名	部門等名	指導教員	授業科目	入学定員	
機 能 再 生 医 科 学	生 体 機 能 医 工 学	遺伝子機能工学	久郷裕之教授 香月康宏准教授	(学際領域科目) 先端医療特別セミナー、 生命倫理学	7人	
		生体高次機能学	畠 義郎教授 中村貴史准教授			
		(協力部門) 蛋白質機能学	河田康志教授 溝端知宏准教授			
		(連携研究所) 協和発酵キリン株式会社	(客員) 掛田実教授他			
	遺 伝 子 再 生 医 療 学	遺伝子医療学	汐田剛史教授 土谷博之准教授	(コア専門科目) 遺伝子・染色体機能医工学特論・演習、 神経機能再生学特論・演習、 遺伝子再生治療学特論・演習、 循環病態再生治療学特論・演習、 細胞組織器官再生学特論・演習、 遺伝子治療学特論・演習		
		再生医療学	久留一郎教授 白吉安昭准教授			
		(協力部門) 制御再建医学	山本一博教授 加藤雅彦准教授			
						(選択専門科目) 再生外科学特論、 病態制御医学特論、 分子シャペロン学特論、 臨床現場実習

* 医学系研究科他専攻の授業科目についても、受講することができ、研究指導を受けることができます。

* 工学研究科化学・生物応用工学専攻の授業科目についても、受講することができます。

IV. 履修方法及び学位授与

1. 本研究科において、3年以上在学し、10単位以上（学際領域科目2単位以上、コア専門科目6単位以上、選択専門科目2単位以上）を履修します。
 - (1) 生命倫理学は必修です。
 - (2) 医学部医学科以外からの入学者は、臨床現場実習は必修です。（前期課程で修得した者は不要。）
2. 大学院設置基準第14条による教育方法の特例による教育の実施について
 - (1) 目的
通常の方法では、社会人の多くは学業に専念することは非常に困難であるところから、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を活用して、広く医学関連分野で活躍している社会人に対して夜間、その他特定の時間・期間に授業または研究指導等を行う就学の機会を設けて、社会の要請と教育の機会の多様化に対応することを目的とします。
 - (2) 授業の実施方法
特例による授業は、夜間（18:30～21:40）、土曜日、日曜日、夏季・冬季休業期間（集中講義）に実施します。
また、研究指導及び論文の作成にあたっては、夜間、土曜日、日曜日或いはコンピュータネットワーク等のマルチメディアを活用して指導します。
* 大学院設置基準第14条
「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」
3. 上記1の条件を満たし、かつ、指導教員の研究指導を受け、論文を作成し、論文審査及び最終試験に合格した者には「博士（再生医科学）」の学位を授与します。
ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績をあげた者については、2年以上在学すれば足りるものとします。

V. 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有している等の事情により、通常の標準修業年限（3年間）では修了が困難である者に対し、標準修業年限を超えて一定の期間（最長6年間）にわたり計画的な履修を認める制度です。

また、授業料については、標準修業年限の3年間で支払うべき総額を、長期履修を認められた期間で均等割して支払うこととなります。

なお、長期履修制度の適用を希望する者は、入学手続き時に申請が必要です。詳細については、医学部学務課教育企画係までお問合せください。

VI. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について

次のいずれかの条件に該当し、入学料又は授業料の納入が著しく困難と認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考の上、入学料又は授業料が免除（全額又は半額）される制度があります。

- (1) 経済的理由によって入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
- (3) (2)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

詳細については、医学部学務課学生係（TEL（0859）38-7100）へお問い合わせください。

VII. 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

学生1人につき350万円以内を固定金利で利用でき、在学期間内は利息のみの返済とすることができます。

詳細については、日本政策金融公庫教育ローンコールセンター（0570-008656（ナビダイヤル））へお問い合わせください。

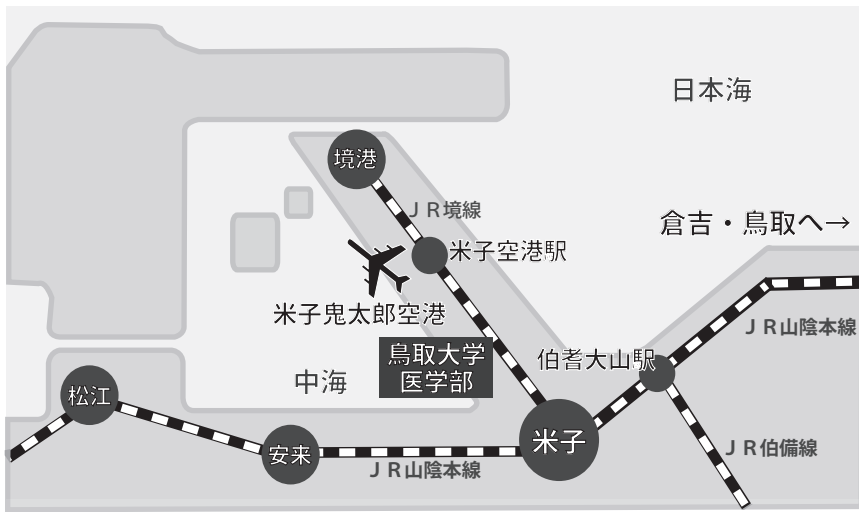
Ⅷ. 奨学金制度について

独立行政法人日本学生支援機構等において、人物・学業とも優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学が著しく困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与し、修学を援助する制度があります。

また、本学では大学院博士課程（博士後期課程）に入学・進学する学生の研究意欲の向上及び優れた研究の推進に資するため、1・2年次学生を対象とした「エンカレッジ・ファンド」があり、研究科長から推薦された者に年額50万円を限度として奨学金が給付されます。

詳細については、医学部学務課学生係（TEL（0859）38-7100）へお問い合わせください。

米子地区案内図



- ① JR米子駅から徒歩約15分
- ② JR米子駅からタクシー約5分
- ③ 米子鬼太郎空港からタクシー約20分



アレスコ棟



医学部附属病院



総合教育棟



総合研究棟



生命科学棟

平成31年度 鳥取大学大学院医学系研究科 博士後期課程

志 願 票

※必ず出願前に志望部門の教授等と連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。

専攻	<input type="checkbox"/> 生命科学専攻 <input type="checkbox"/> 機能再生医科学専攻		受験番号	*	
出願方法	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 社会人 <input type="checkbox"/> 外国人留学生				
志望部門					
ふりがな 氏 名		男 女	年 月 日 和 成 (才)		
出願資格	大学 学部 科 系 昭和 年 月 卒業 平成 年 月 卒業見込 大学大学院 研究科 専攻 平成 年 月 修了 平成 年 月 修了見込				
国籍 (外国人のみ記入)					
ふりがな 住 所	TEL (携帯) () -				
連絡先 又は 勤務先	ふりがな 氏 名 (又は勤務先)			続柄	
	ふりがな 住 所			TEL ()	-

- 備考 (1) *欄を除きすべて記入してください。
 (2) 専攻、出願方法を選択し□に✓を付してください。
 (3) 裏面の履歴欄も記入してください。

平成31年度
鳥取大学大学院医学系研究科博士後期課程

写 真 票

専 攻	<input type="checkbox"/> 生命科学専攻 <input type="checkbox"/> 機能再生医科学専攻
受験番号	*
氏 名	

写真貼付欄
 (上半身・無帽・正
 面向きで、出願前
 3か月以内に撮
 影したものをの
 り付けしてくだ
 さい。)
 縦4cm×横3cm

**出願の際は、必ず募集要項をお取り寄せ
 いただき、添付されている指定用紙を使用
 してください。**

平成31年度
鳥取大学大学院医学系研究科博士後期課程

受 験 票

専 攻	<input type="checkbox"/> 生命科学専攻 <input type="checkbox"/> 機能再生医科学専攻
受験番号	*
氏 名	

写真貼付欄
 (上半身・無帽・正
 面向きで、出願前
 3か月以内に撮
 影したものをの
 り付けしてくだ
 さい。)
 縦4cm×横3cm

見 本

裏面も記入してください

研究業績目録

鳥取大学大学院医学系研究科

氏名		志望部門		受験番号	*
<p>学術論文、研究発表・報告、特許等</p> <p>現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。</p> <p>(例えば学術論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)について記入し、研究発表の場合は、発表題目、発表者名、発表学会名、発表年月を記入してください。なお、資格認定申請者名には二重下線を付してください。)</p> <p>(以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名(発表者名)が多数にわたる場合は、主な著者(発表者)を数名記入し以下を省略しても可(省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入)。)</p>					

(注)1. 学術論文等は、別刷り又は写しを添付してください。なお、パソコンを使用する場合は、本様式に印刷又は本様式(A4版)に
なり作成してください。

2. 研究業績のない場合は、「なし」と記入してください。
3. *印欄は記入しないでください。

研 究 計 画 書

氏 名		志望専攻		受験番号	*
-----	--	------	--	------	---

*印欄は記入しないでください。
(800字以内で記入してください。)

(様式3)

受験番号	*
------	---

*欄は記入しないでください。

受 験 承 認 書

平成 年 月 日

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

所属機関名

所属長名

公
印

下記の者が、鳥取大学大学院医学系研究科（生命科学専攻・機能再生医科学専攻）博士後期課程を受験することを承認します。

なお、同人が貴研究科に入学する場合は、在職のまま就学することを承認します。

記

所属部署

職 名

氏 名

※所属長（学長、学部長、病院長、代表取締役 等）の公印によるものを提出してください。

※該当の専攻名に○印をしてください。

※入学後、職場が変更する者については、「なお、」以下を二重線で消してください。

平成31年度鳥取大学大学院医学系研究科
生命科学専攻
機能再生医科学専攻
博士後期課程入学試験出願資格認定申請書

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

申請者
氏名 印

生年月日 昭和・平成 年 月 日

専攻 生命科学 機能再生医科学

志望部門

別紙の書類を添付のうえ、標記出願資格の認定を申請します。

記

認定を希望する区分・出願資格	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 出願資格2	<input type="checkbox"/> 出願資格6
	<input type="checkbox"/> 社会人	<input type="checkbox"/> 出願資格3	<input type="checkbox"/> 出願資格7

※ 該当の専攻、出願資格の□にチェックを付けてください。

